

校長室からのお知らせ

4月10日号 NO.1

岸和田市立山直北小学校
校長 尾野 武志

よろしく願いいたします

すみません。厚かましく3年間も居座ることになってしまった山直北小学校の校長の尾野です。どうぞよろしく願いいたします。

山直北小学校から11名の職員が転出し、16名もの職員が転入してきました。異動が多いと学校の雰囲気も変わりますが、「校長室からのお知らせ」は大きく変化も進化もさせることはできず、紙の無駄遣いと心得ながらもコツコツと発行していきたいと思っておりますので、お時間に余裕があればお付き合いください。

さて、4月6日(月)に104名の新1年生が、満開の桜に歓迎され入学してきました。卒業式の肅々とした空気とは違い、入学式は朗らかで微笑ましい雰囲気に包まれ、春の始まりを感じることができました。

1名の欠席もなく全員が入学式に参加できたことは、とても素敵なことだったと思います。2年生から6年生の521名と合わせ、625名の子どもが通う山直北小学校を温かく見守り、支えていただきますようお願いいたします。

さて、始業式で子どもたちに伝えたことを「校長室からのお知らせ」で保護者のみなさまにも知っていただければと思います。

心や気持ちを込めた「おあいこ(ご)」を子どもたちにお願いしました。「お」は「おはようございます」、「あ」は「ありがとうございます」、「い」は「行きます」ではなく「いただきます」、「こ(ご)」は「ごめんなさい」になります。なぜ、「おあいご」ではなく、「おあいこ」かと申しますと、2年生から6年生の500人以上の子どもたちVS校長でジャンケンをして、「あいこ」となった子どもをクローズアップしてから話をしたかったという尾野の単純なわがままが理由になります。予想以上にジャンケンが盛り上がり、尾野の話があまり伝わっていないことも書き添えますので、ご家庭で「心や気持ちを込めたあいさつ」に励むようにお子さまに伝えていただければ幸いです。

第1号から、後半はどうでもよいような話題と保護者のみなさまへのお願いを掲載しておりますので、今後も期待せずにこの紙面の裏紙をメモ用紙等として活用していただきますようお願いいたします。

校長室からのお知らせ

4月21日号 NO.2

岸和田市立山直北小学校
校長 尾野 武志

ご理解とご協力をお願いします

毎朝、8時30分からモジュール学習を行っています。主に新出漢字などに短時間で集中して取り組むことで、効率よく学習効果をあげることがねらいです。言い換えますと、8時30分から学習が始まっています。そのため、8時20分には学校に着き、8時25分には教室で学習準備を終えて座っていないと落ち着いて漢字練習をすることができないと思っています。残念なことに、昨年一年間は数多くの子どもたちが8時30分を過ぎて登校していました。毎朝、正門と三田門、岡山門に教職員が立ち、子どもたちに声をかけていましたが、改善できたお子さんはわずかです。完全に遅れているのに焦らず急がず慌てず、堂々と歩いてくるお子さんも見られました。体調不良やケガで遅れてくることについては仕方ないと考えますが、寝坊や準備に時間がかかり遅れてくることは、褒められたことではありません。遅刻が常習化すると、社会人ならば信用や職を失うかもしれないと思います。

山直北小学校に通うすべての子どもたちに「10分前行動」が身に着くことを願っています。そのためには、保護者のみなさまのご理解とご協力が必要不可欠です。お子さまが8時20分までに学校に着くように、ご自宅から送り出していただきますようお願いいたします。

また、京都府の小学生の行方不明事件が報道されていますが、子どもたちの安全を守り、保護者のみなさまの安心につなげるためには、できるだけ数多くの子どもたちが一緒に歩いて、まとまって登校することが有効な対策の一つだと考えています。どうかご理解とご協力をお願いします。

役に立つ保証はありませんが、ご自宅を出るまでに時間がかかるお子さんは「体内時計」をリセットすることで、キビキビと動けるようになるかもしれません。高学年になってきますと、夜型の生活に近づくお子さんが増えますが、夜型の生活は体内時計を乱し、眠気を感じにくくなり朝もすっきり起きることができずイライラがつのり、心と体の不調につながります。

寝る時間（21時頃）を守り、朝起きたら日光を浴び、朝食をしっかりと食べることで、体内時計は整うそうです。一応ですが、尾野はやっています。